

# 再生可能エネルギーの発電事業者等における 運用上の課題と対応について

2023年2月28日

資源エネルギー庁

# 本日の論点

- 先ほど、送配電網協議会（以下、協議会）より、再生可能エネルギーの発電事業者等における運用上の様々な課題が示された。
- 各課題については、いずれにしても追加で発生する費用等が、社会コストの増加につながるものとなっている。
- こうした事例について、現時点においては、一部の発電事業者等に留まることから、まずは、資源エネルギー庁から発電事業者等に対して、託送供給等約款に沿った運用の徹底等について協力を要請する（通知文の発出） こととしてはどうか。
- その後の改善状況を見た上で、引き続き、状況が改善されない場合には、運用が徹底される仕組みを検討するなど、これらの問題への対応については継続的に検討していくこととしてはどうか。

# 資源エネルギー庁から発電事業者等への通知内容のイメージ

## 【連系工事の計画変更について】

- 最近、発電事業者の都合による工期変更が多数発生しており、施工力が有効に活用されないケースが増えていることから、発電事業者は、発電所の建設計画を踏まえた上で、確度を以て一般送配電事業者と連系を行うための工期を調整頂くことや、工事計画に変更がある場合は、時間的余裕を以て一般送配電事業者に連絡を行い工期の調整に協力するよう対応を求める。

## 【発電所を設置する際の新設電柱の抑制について】

- 不用な電柱の建設の抑制と管理コストを削減するため、託送供給等約款のとおり、既存の配電設備からもっとも近い地点への受電設備の設置を検討するように協力を求める。

## 【発電所等における誤操作の防止について】

- 誤操作により、人身災害や系統事故に伴う停電が発生する可能性があるため、託送供給等約款のとおり、開閉器の操作については、一般送配電事業者と確実に協議することや、一般送配電事業者の給電指令に従うことへの協力を求める。

## 【作業停電の実施について】

- 作業停電の実施については、社会コストの抑制や安全性の確保の観点から、託送供給等約款のとおり、一般送配電事業者からの要請に協力するよう求める。

## 【電圧フリッカ対策について】

- 電気の電圧及び電力品質を維持するため、託送供給等約款等に基づき、太陽光PCSの設定変更等に協力することについて適切に対応するよう求める。